

2002.10.10 文化論「ジェンダー論」

第2回「ライフコースの分化」(田中重人)

1. ライフサイクル論の展開
2. ライフコースという概念
3. 性別によるライフコースの分化
4. フルタイム継続率の変化

【ライフサイクル論】

Life cycle = 生命をもつものの一生の生活に見られる規則的な推移

(定義は有斐閣『新社会学辞典』1993、以下同様)

e.g. 卵→幼虫→さなぎ→成虫→生殖活動→死

↳ 卵→幼虫→……

【ライフコースという概念】

人間の「ライフサイクル」

- ★ 生殖期間以降の寿命が長い
- ★ 文化的に決まる部分が多い

Life course = 年齢に分化した役割と出来事を経つつ個人がたどる生涯の道

➡文化・時代・個人的選択によって分岐する

Life stages = 人間一生の発達過程に
認められる諸段階

乳児→幼児→少年→青年→中年→老年……

ということになっているが…

「中年」のところは性別によってすごく違う

Cohort = 人生における同一の重大な出来事
を一定の時期に経験した人々のこと

★ 単に「コーホート」といえば
出生コーホートを指す

【性別によるライフコース分化】

「中年」期の細分類（家族形態に着目）：

- 単身期
- 夫婦だけの家族
- 養育期
- 教育期
- Empty nest

細分ライフ・ステージによる生活時間の変化 (別表参照)

★総務庁統計局「社会生活基本調査」

1996 年による

★ひとつの世帯でいちばん若い夫婦について、妻および夫の生活時間を計算

★「1次活動」は睡眠・食事など

★「3次活動」はマスメディア接触など

仕事の面から見ると：

★男性は高原型

★女性は M 字型

➡ライフ・ステージによる働き方の調整は
女性だけがおこなっている

【フルタイム継続率】

職業経歴の回顧データをもとに計算。

結婚前にフルタイム職についていた者のうち、末子誕生までフルタイムに残る者の比率

農林業・自営業の増減の影響のあつかい方がミソ

★ どのコーホートでも、

女性のフルタイム継続率は20%程度で一定

男性のフルタイム継続率はほぼ100%